

メジャーポート

取付説明書 — 基本・M・Y合掌・縦連棟・ロング柱 —

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

カーポートは簡易型車庫です。物置、遊び場、あるいは住居の一部等への転用を目的としてみだりに改造・変更をしないでください。

< 施工の前に >

- ①正しく施工、組付けをしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ②設置場所の確認
 - ①施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
 - ②強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道等の施工は避けてください。
 - ③施工場所の気象条件(風雪等)に合った商品かどうか確認してください。
- ③規格表、梱包明細で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- ④組立、施工中では
 - ①ボルト、ビスは弊社純正商品の規定本数を確実に締付け固定してください。
 - ②取付説明書の順序通り組付けてください。製品の強度等、性能を低下させる場合があります。
 - ③アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。
- ⑤基礎工事について
 - ①基礎寸法は、取付説明書の通りの寸法としてください。地盤の種類によっては、倒壊の危険性が発生します。
 - ②基礎コンクリートには、塩分を含む砂、および塩素系のモルタル混和剤や急結剤を使用しないでください。
- ⑥製品の改造は絶対に行わないでください。
- ⑦施工完了後は
 - ①ボルト、ビス等に緩みがないか確認してください。
 - ②施工中の汚れは取り除き、誤ってつけたキズは、補修塗料をしてください。
- ⑧施工終了後、取付説明書は、取扱説明書といっしょに施主様にお渡しください。

■ 梱包明細書

① 柱セット

名 称	員 数			
	2本入	3本入	ロング 2本入	ロング 3本入
柱	2	3	—	—
ロング柱	—	—	2	3

② 上りセット

名 称	員 数	
	2本入	3本入
上り	2	3

③ 縦樋セット

名 称	員 数
縦樋(L=3300, φ42)	1

④ アーチ側枠セット

名 称	員 数		
	29型	50型	57型
側枠R・L	各1	各1	各1
アーチ	3	6	7
アーチカバー	5	8	9

⑤ ジョイントセット

名 称	員 数			
	ミニ		レギュラー	
	2本入	3本入	2本入	3本入
ジョイント	2	3	2	3
ジョイントカバーR・L	—	—	各2	各3
φ5×55サラネジ	—	—	2	3

⑥ 部品セット つづき

名 称	員 数					
	ミニ			レギュラー		
	29/50型	57型	15型	50型	57型	15型
孔隠しシール	20	30	10	20(24)	30(36)	10(12)
φ5×55サラネジ	2	3	1	—	—	—
φ4×13ピアスネジ	34	38	14	42(50)	47(56)	17(20)

※()内は間口30型

⑥ 部品セット

名 称	員 数					
	ミニ			レギュラー		
	29/50型	57型	15型	50型	57型	15型
前枠コーナーキャップR・L	各1	各1	—	各1	各1	—
雨樋コーナーキャップR・L	各1	各1	—	各1	各1	—
上りキャップ	2	3	1	2	3	1
ジョイントカバーR・L	各2	各3	各1	—	—	—
上り用止水パッキン	2	3	1	2	3	1
アンカー棒	2	3	1	2	3	1
コーキング剤	1	1	1	1	1	1
M8×30六角ボルト	14	21	7	14	21	7
アタッチメント	1	1	1	1	1	1
孔フサギキャップ	1	1	1	1	1	1
雨樋パッキン	2	2	2	2	2	2
ドレンエルボ (キャップ・パッキン付)	1	1	1	1	1	1
92エルボ	1	1	1	1	1	1
サドル	2	2	2	2	2	2
サドル受け	2	2	2	2	2	2
φ4×12トラスネジ	4	4	4	4	4	4
φ4×19ピアスネジ	2	2	2	2	2	2
接着剤	1	1	1	1	1	1
取付説明書	1	1	—	1	1	—
取扱説明書	1	1	—	1	1	—

⑥部品セット つづき

名 称	員 数					
	ミニ			レギュラー		
	29/50型	57型	15型	50型	57型	15型
φ4×10 2種 先端絞りなし	98	114	42	118(162)	138(189)	50(67)
φ5×12トラスネジ	4	6	2	4	6	2

※()内は間口30型

⑦母屋セット

名 称	員 数											
	15型			29型			50型			57型		
	2本入	3本入	4本入	2本入	3本入	2本入	3本入	4本入	2本入	3本入	4本入	
雨樋	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
前枠	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
母屋	2	3	4	2	3	2	3	4	2	3	4	
堅樋(L=3300, φ42)	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	

⑧M合掌部品セット

名 称	員 数	
	50型	57型
M合掌材	4	5
M合掌キャップ	2	2
上り連結材	4	6
M8×75ボルト	4	6
M8用平座金	8	12
M8用袋ナット	4	6
φ4×13ピラスネジ	8	9

⑩合掌材セット

名 称	員 数
合掌桁	1

⑪連棟アーチセット

名 称	員 数		
	15型	50型	57型
アーチ	3	8	9
アーチカバー	1	6	7
連棟アーチカバー	1	1	1

⑫連結部材セット

名 称	員 数
雨樋連結材	1
前枠連結材	1
母屋連結材	3(4)
φ4×13ピラスネジ	42(50)

※()内は間口30型

⑨Y合掌部品セット

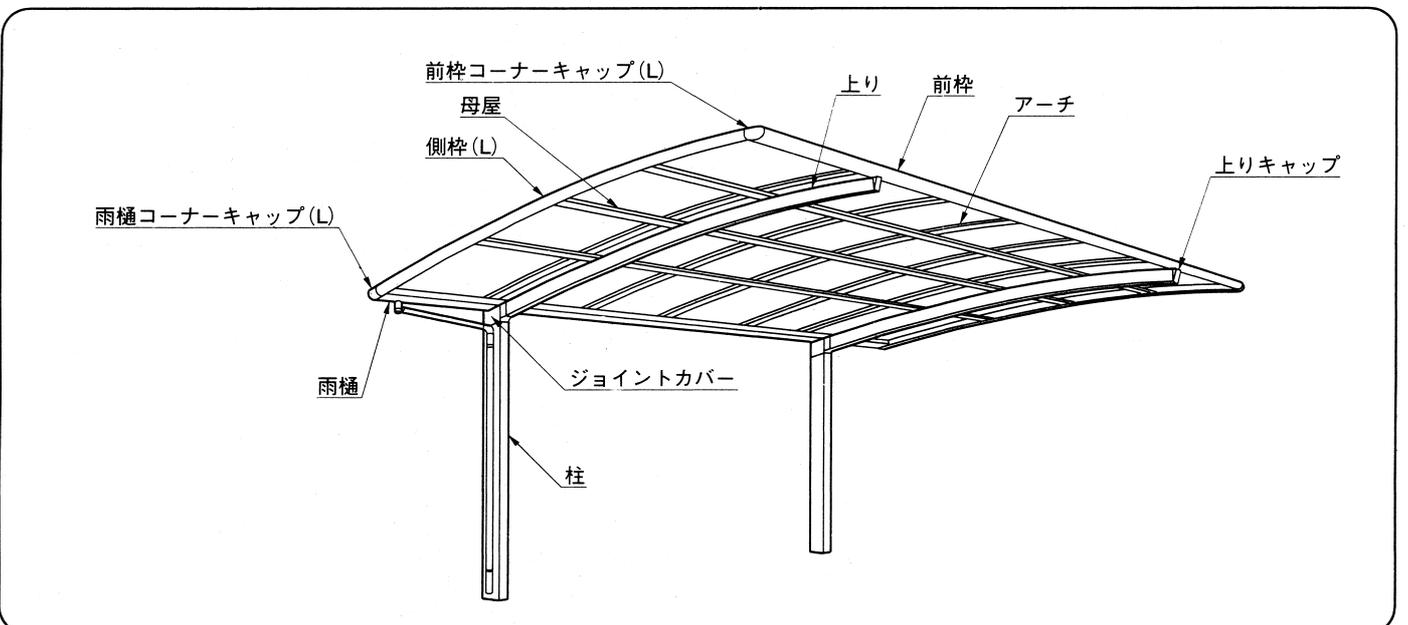
名 称	員 数	
	50型	57型
Y合掌材	4	5
Y合掌キャップ	2	2
Y合掌用柱連結金具	2	3
φ4×13ピラスネジ	8	9

⑬屋根材

名 称	員 数	
	3枚入	4枚入
屋根材	3	4

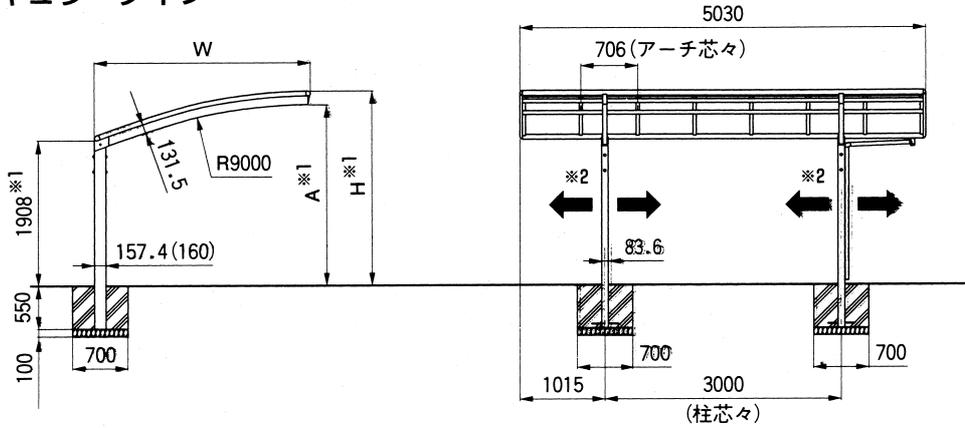
—基本—

1. 姿図および各部名称

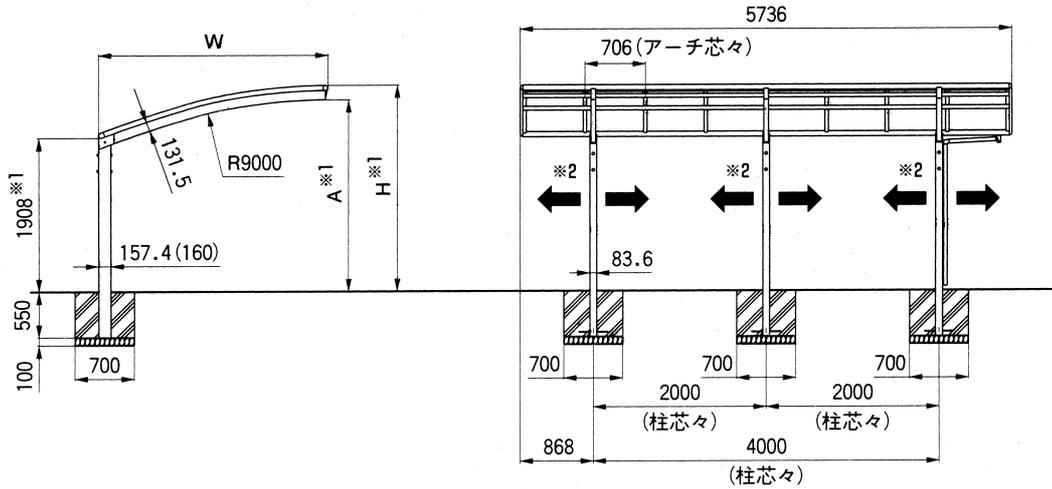


2.基本寸法

2-1 レギュラータイプ



50型



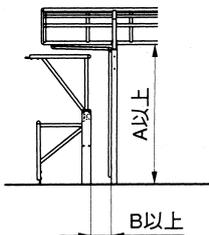
57型

	W	H	A
24 型	2405	2372	2166
25.5 型	2555	2404	2198
27 型	2705	2436	2230
30 型	3005	2500	2294

<注 意>

- ロング柱を使用した場合、高さ寸法は+500mmとなります。(※1)
- 柱の移動は±100mm以内で施工してください。(※2)
- ()内寸法は、30型の場合を示します。

● オーバードアと施工される場合



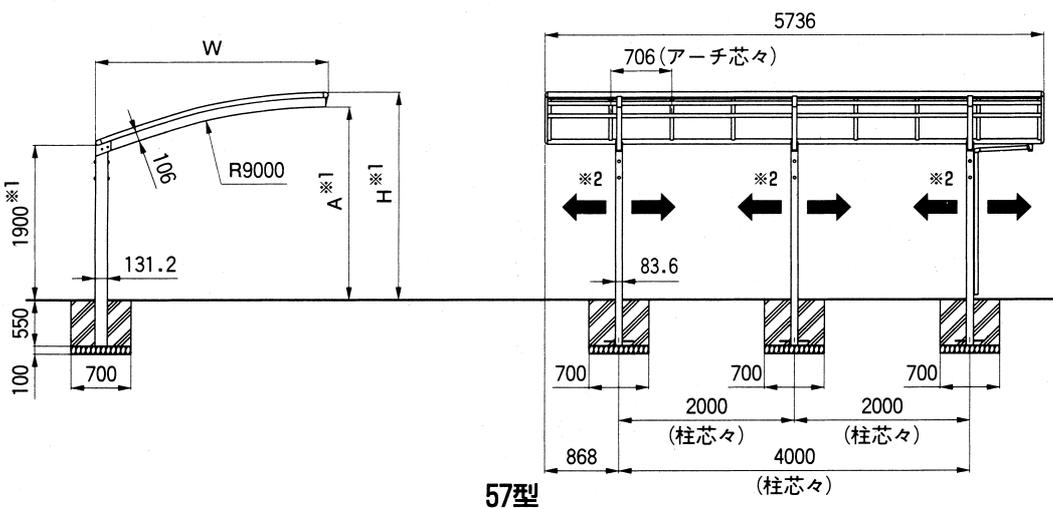
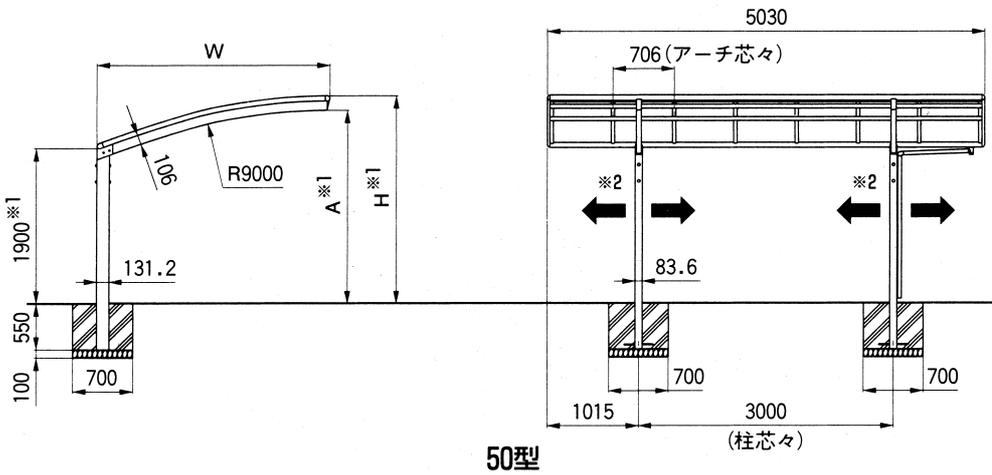
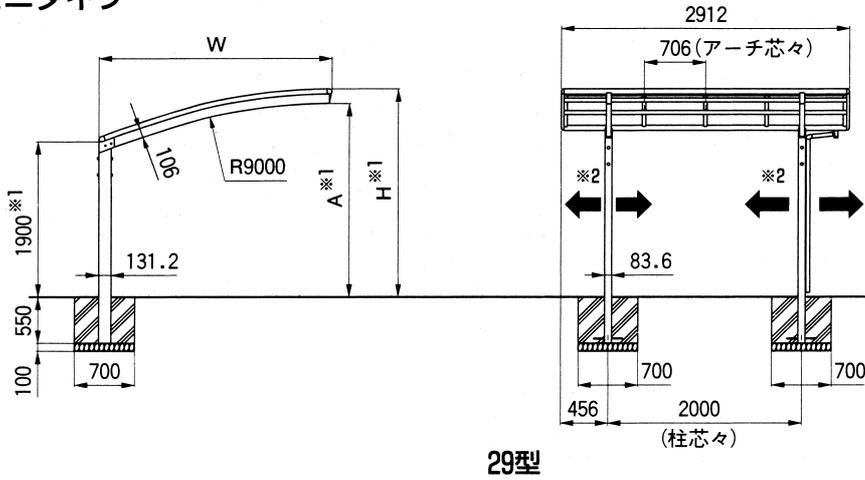
<注 意>

- オーバードアを桁下に施工される場合は、ロング柱を使用してください。
- 下表中、斜線部はオーバードアが桁下に納まりません。桁下からずらして施工してください。

手動・電動タイプ								直昇タイプ			
標準				ハイルーフ				標準		ハイルーフ	
H:10		H:12		H:10		H:12		H:10		H:12	
A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
2090	150	2090	350	2390	100	2390	200	2175	260	2275	465

2.つづき

2-2 ミニタイプ



	W	H	A
18型	1805	2236	2056
21型	2105	2300	2120

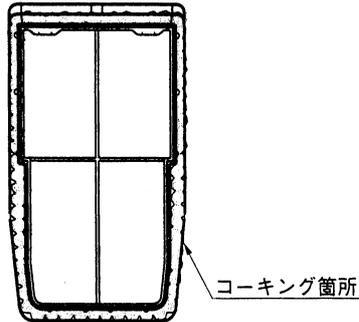
<注意>

- ロング柱を使用した場合、高さ寸法は+500mmとなります。(※1)
- 柱の移動は±100mm以内で施工してください。(※2)
- () 内寸法は、30型の場合を示します。

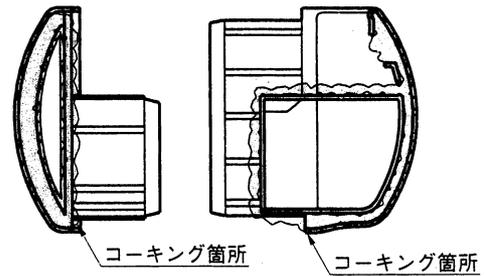
コーキング箇所指示図

※コーキングが不十分な場合、「雨もり」するおそれがあります。下記の指示に従い必ず「コーキング」を行なってください。

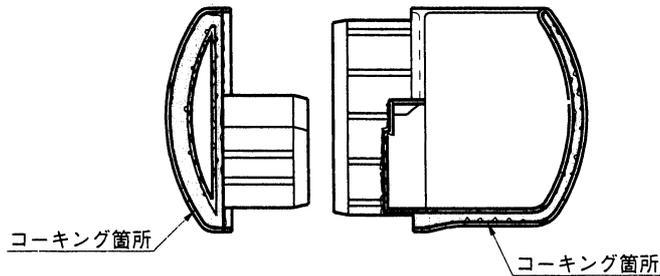
- 上りキャップ、雨樋コーナーキャップ、前枠コーナーキャップは組付け前に、下図を参考に「コーキング剤を充てん」してください。



上りキャップのコーキング箇所

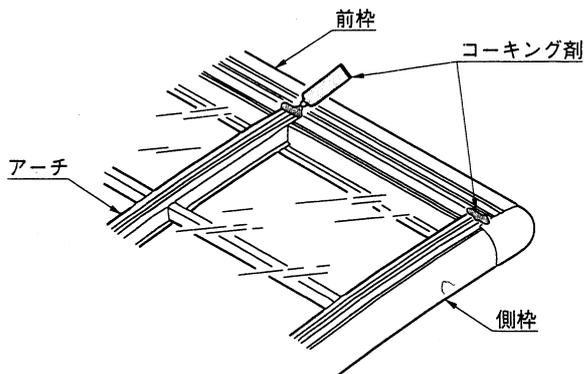


前枠コーナーキャップのコーキング箇所

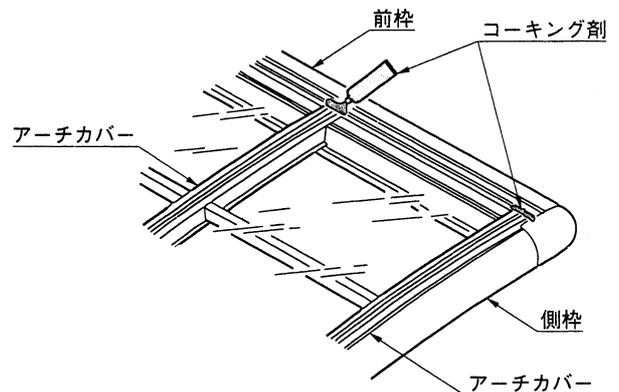


雨樋コーナーキャップのコーキング

- 屋根材を組付け後「アーチ・側枠と前枠」のジョイント部にコーキングを施してください。

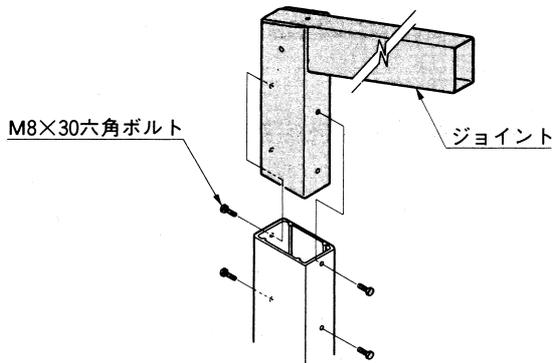


- アーチカバー・側枠カバーを組付け後「アーチカバーと前枠」のジョイント部にコーキングを施してください。



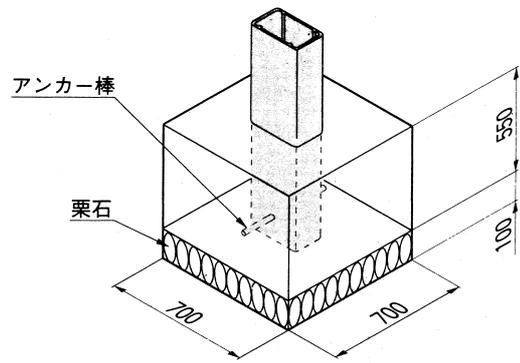
アーチ・アーチカバー部のコーキング

3. ジョイントの組付け



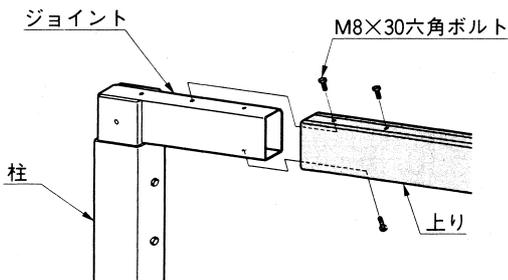
- ① ジョイントを柱に差込み、M8×30六角ボルトで柱に取付けてください。

4. 基礎施工



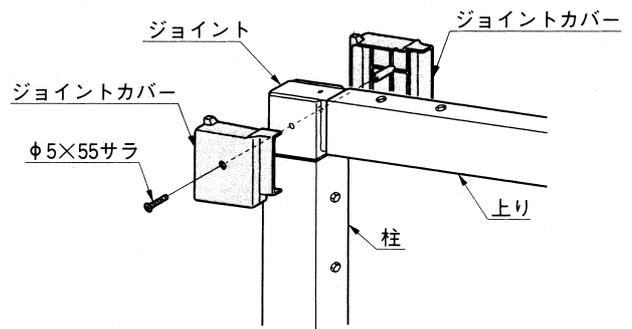
- ① コンクリート施工は骨組完了後に行ない、硬化後屋根材を組込んでください。
- ② アンカー棒は必ず施工してください。

5. 上りの取付け



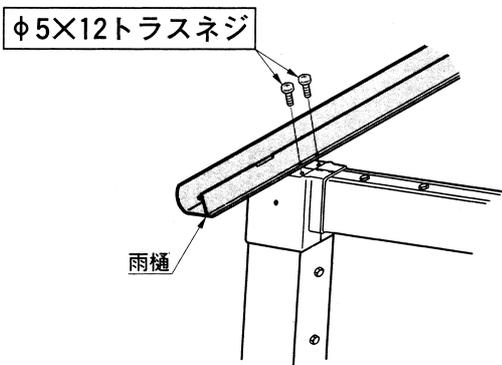
- ① 上りをM8×30六角ボルトでジョイントに取付けてください。

6. ジョイントカバーの取付け



- ① 柱にジョイントカバーをφ5×55サラで固定してください。

7. 雨樋の固定

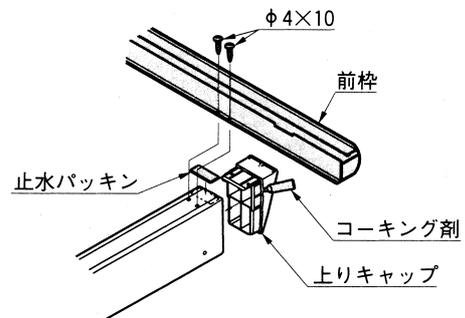


- ① 「φ5×12トラスネジ」でジョイントに固定してください。

<注意>

- 柱移動を行なった場合は、前枠に上りに合わせてφ4.5の孔加工を行なってください。
- 既存の加工孔には孔隠しシールを貼ってください。

8. 前枠の固定

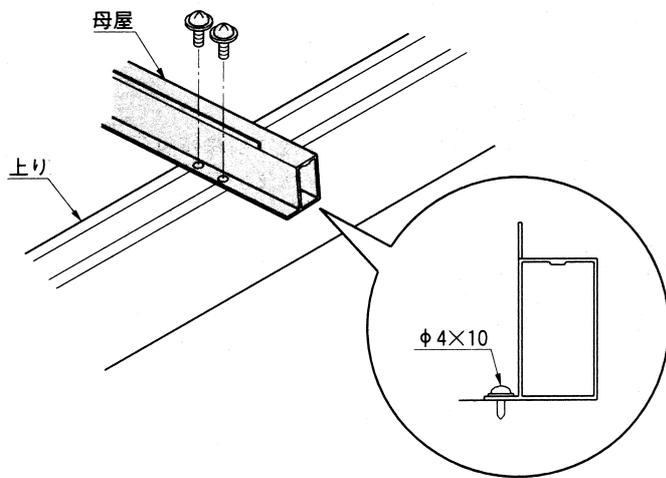


- ① 上りに止水パッキンと上りキャップを取付けてください。このとき、上りキャップにコーキング剤を施してください。
- ② 前枠をφ4×10で上りに固定してください。

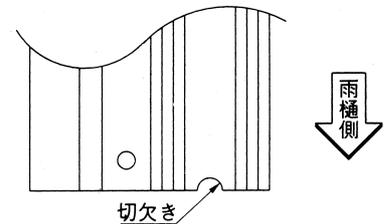
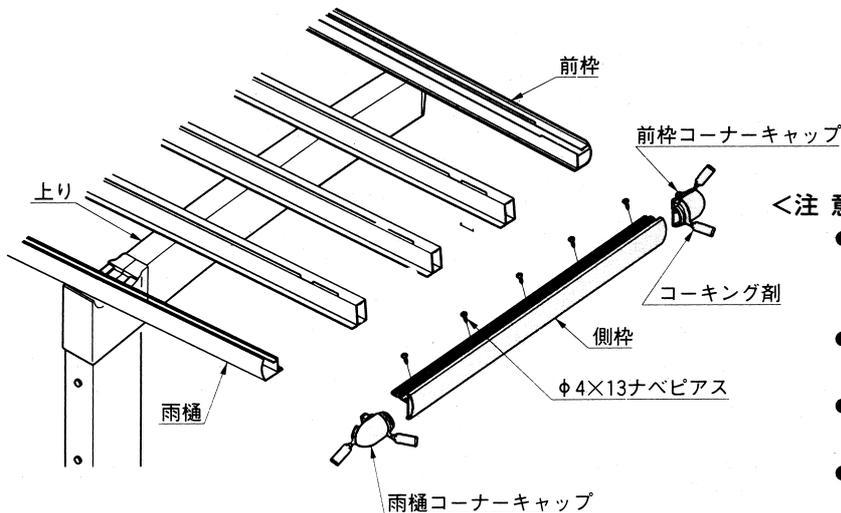
<注意>

- 柱移動を行なった場合は、前枠に上りに合わせてφ4.5の孔加工を行なってください。
- 既存の加工孔には孔隠しシールを貼ってください。

9. 母屋・側枠の取付け



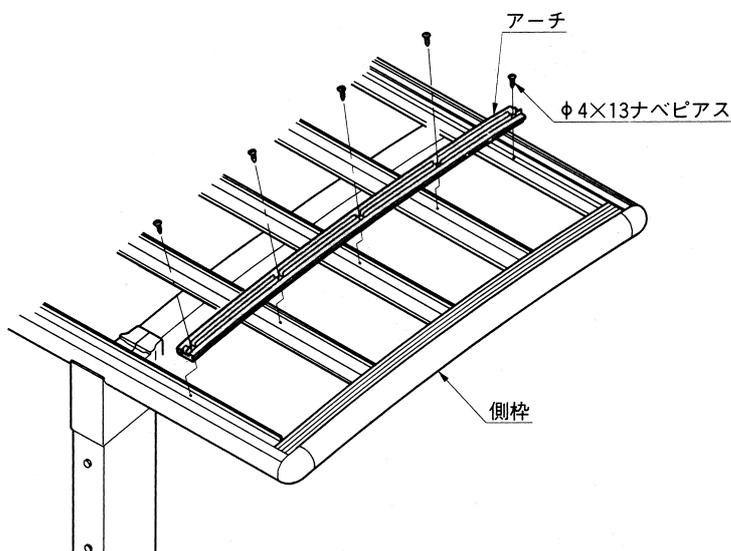
- ❶ 母屋をφ4×10で上りに固定してください。
- ❷ 側枠に雨樋コーナーキャップおよび前枠コーナーキャップを差込んでください。このとき、コーナーキャップにコーキングを施してください。
- ❸ コーナーキャップを前枠・雨樋に差込んでください。このとき、接合面にコーキングを施してください。
- ❹ 側枠をφ4×13ナベピースで固定してください。



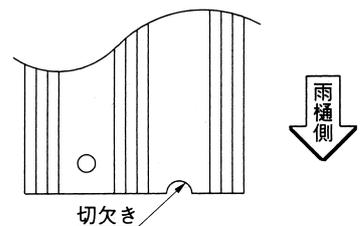
<注意>

- 側枠には、雨樋側・前枠側があります。上図のような切欠きが入っている方が雨樋側になります。
- 側枠を組付けるとき、前枠カバーを持ち上げるようにして組付けてください。
- 柱移動を行なった場合は母屋に上りと合わせてφ4.5の孔加工を行なってください。
- 既存の孔には孔隠しシールを貼ってください。

10. アーチの取付け



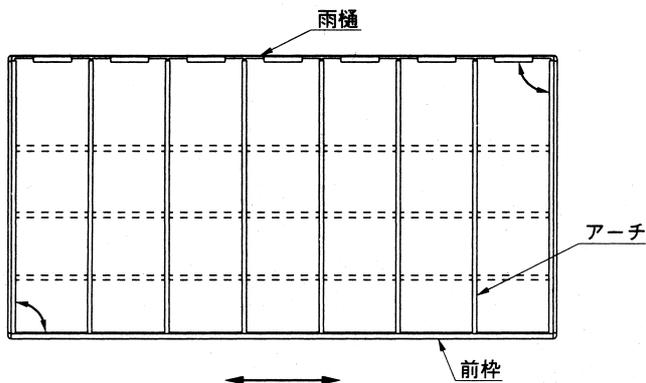
- ❶ 母屋の切欠きとアーチを合わせて、φ4×13ナベピースでアーチを固定してください。



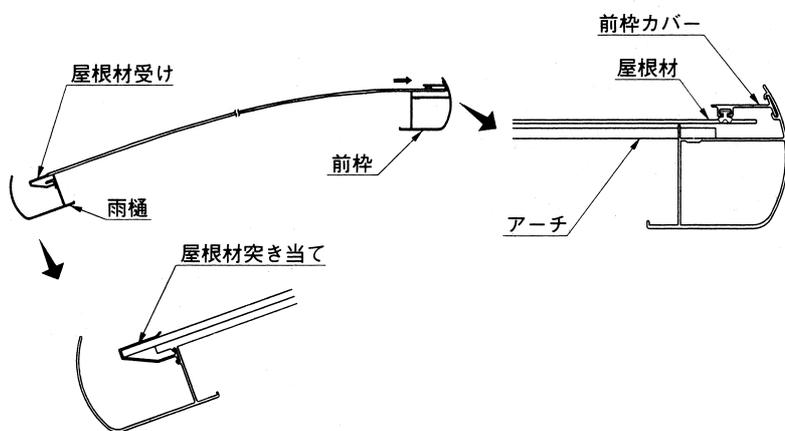
<注意>

- アーチには、雨樋側・前枠側があります。上図のような切欠きが入っている方が雨樋側になります。
- アーチを組付けるとき、前枠カバーを持ち上げるようにして組付けてください。

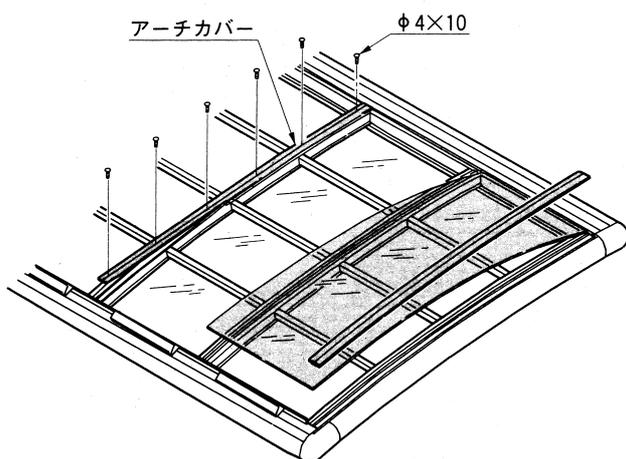
11. 屋根材・アーチカバーの取付け



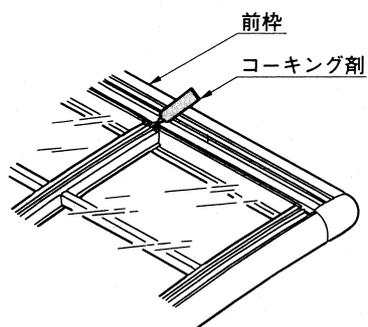
- ① アーチと雨樋・前柵が直角かどうかを調べ、直角が出ていない場合は、前柵を矢印方向に移動させ、調整してください。



- ② 屋根材を前柵カバーに差込み、屋根材受けに差込んでください。屋根材は、雨樋側に突き当ててください。



- ③ アーチカバーは前柵カバーに突き当てて固定してください。
- ④ アーチカバーは左右どちらかの側柵から1スパンごとに順次取付けてください。



- ⑤ アーチカバー取付ネジφ4×10は端から順次取付けてください。
- ⑥ アーチカバーと前柵のジョイント部にコーキングを施してください。

12. 雨樋セットの取付け

- ① アタッチメントおよび孔フサギをパッキンと共にφ4×12トラスで取付けてください。
- ② サドル受けをφ4×19ピースで柱のV溝の位置に取付けてください。(柱には孔はあいていません。サドル受けはジョイント材をさけて取付けてください。)
- ③ 縦樋(L=3300)は現場に合わせてカットしてください。

(柱中心標準位置で施工した場合の参考寸法)

29型	L=152
50型	L=712
57型	L=565
15型	L=452

縦樋の反対側の雨樋に孔フサギを取付けてください。

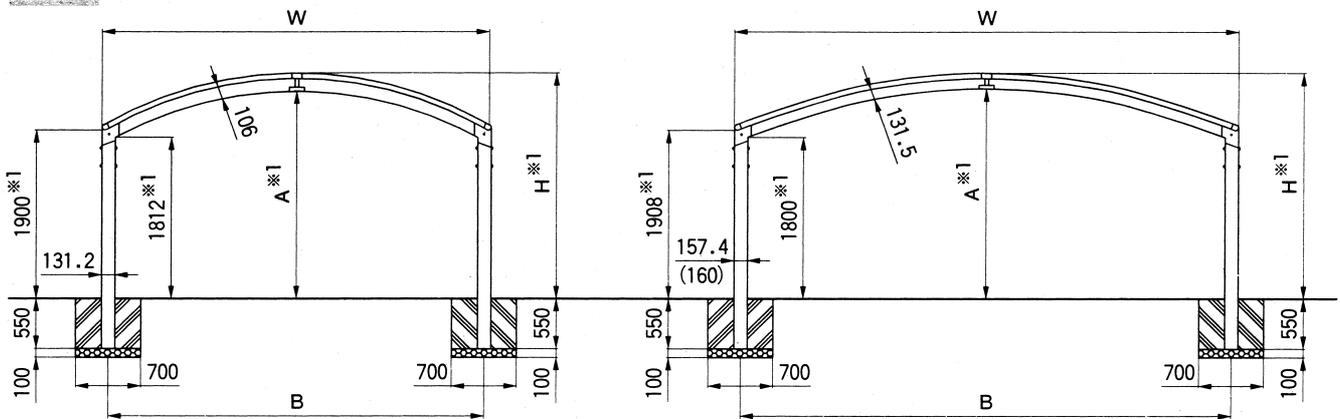
—M合掌・Y合掌— 1. 姿図および各部名称

M合掌

Y合掌

2. 基本寸法

2-1 M合掌



ミニタイプ

	W	H	A	B
18-18型	3616	2240	2052	3480
18-21型	3916	2240	2052	3780
21-21型	4216	2303	2115	4080

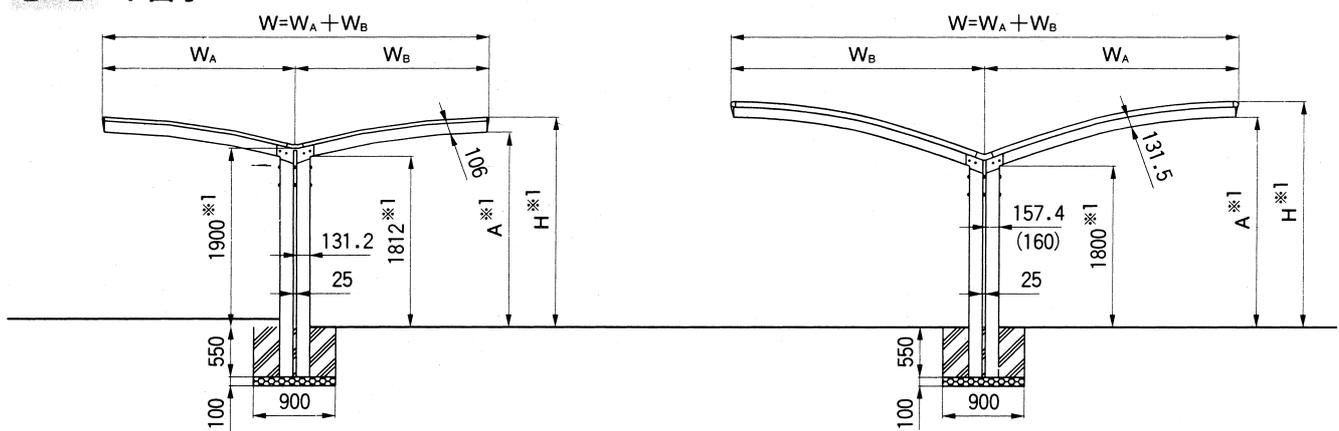
レギュラータイプ

	W	H	A	B	C
24-24型	4816	2374	2161	4653	—
24-25.5型	4966	2374	2161	4803	32
25.5-25.5型	5116	2406	2193	4953	—
25.5-27型	5266	2406	2193	5103	32
27-27型	5416	2438	2225	5253	—
30-25.5型	5566	2406	2193	5401	96
30-27型	5716	2438	2225	5551	64
30-30型	6016	2502	2289	5850	—

<注意>

- ロング柱を使用した場合、高さ寸法は+500mmとなります。(※1)
- ()内寸法は、30型の場合を示します。
- 18-21の合掌の場合は21型の柱を63mm深く埋め込んでください。
- 間口サイズが異なるもののM合掌の場合は、間口が大きい側の柱をC寸法分深く埋め込んでください。

2-2 Y合掌



ミニタイプ

	W _A ・W _B	H	A
18型	1814.5	2236	2056
21型	2114.5	2300	2120

レギュラータイプ

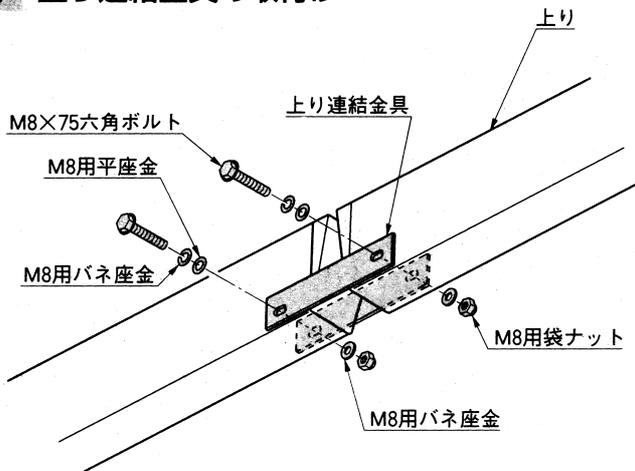
	W _A ・W _B	H	A
24型	2414.5	2372	2166
25.5型	2564.5	2404	2198
27型	2714.5	2436	2230
30型	3014.5	2500	2294

<注意>

- ロング柱を使用した場合、高さ寸法は+500mmとなります。(※1)
- ()内寸法は、30型の場合を示します。

3.M合掌

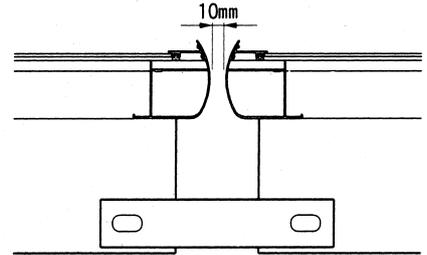
3-1 上り連結金具の取付け



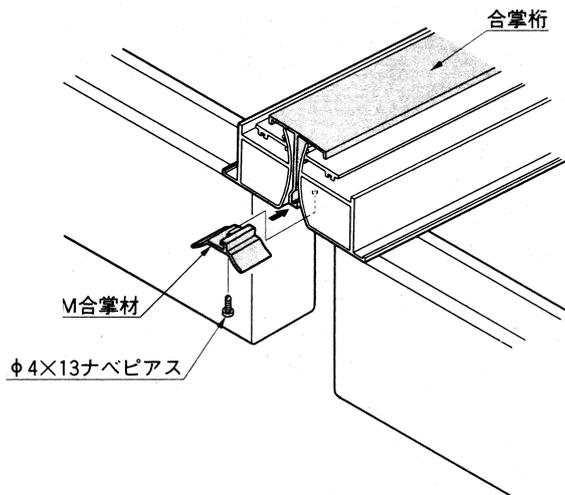
- ① 上りのプッシュボタンをはずし、連結金具をM8×75六角ボルト、M8用平座金、M8用袋ナットで取付けてください。

<注意>

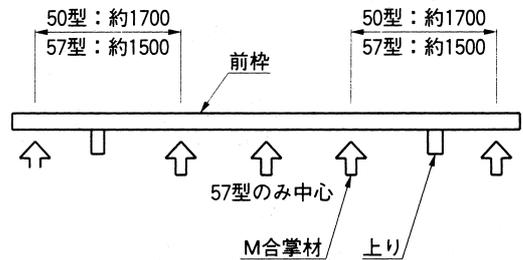
- 前枠と前枠の間隔は10mmですのでご確認をおねがいします。



3-2 合掌材の取付け

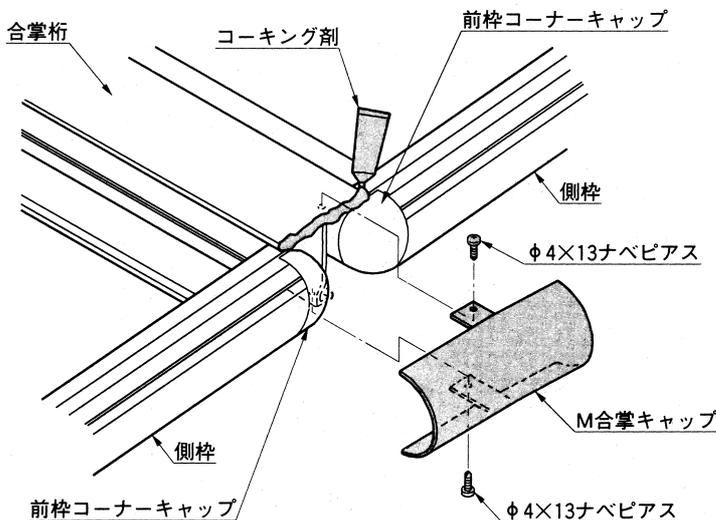


- ① 合掌桁を取付けてください。
- ② M合掌材を側枠方向からスライドして入れ、下図の位置にφ4×13ナベピアスで固定してください。



M合掌材取付位置図

3-3 M合掌キャップの取付け

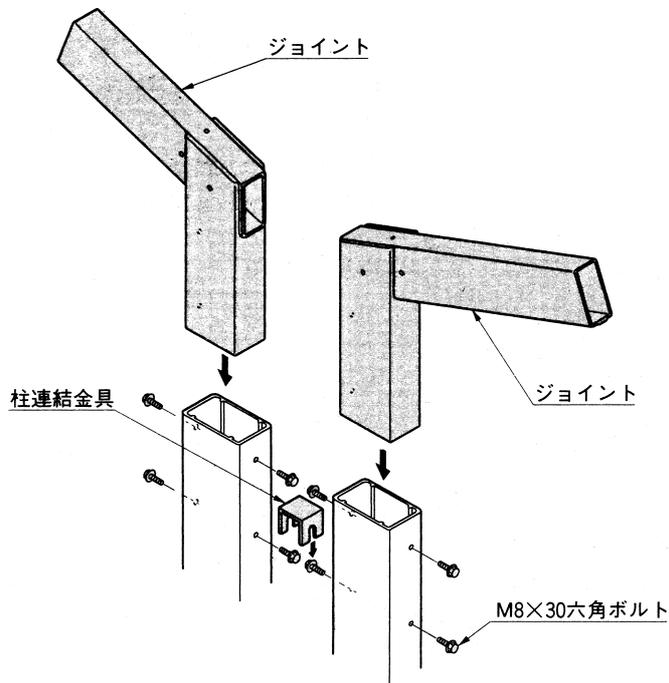


- ① M合掌キャップをφ4×13ナベピアスで合掌桁に取付けてください。このとき、キャップと合掌桁の接合面にコーキングを施してください。

合掌部以外の組立ては基本タイプをご参照ください。

4. Y合掌

4-1 ジョイントの組付け

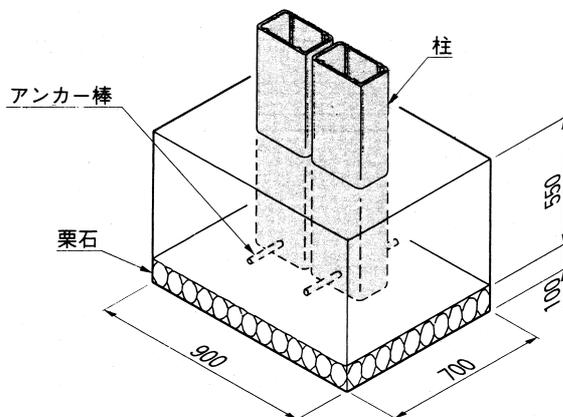


- ① 柱にジョイントを差込み、柱前面のM8×30六角ボルトで固定してください。
- ② 合掌面側のM8×30六角ボルトを軽く締め、すきまに柱連結金具を差込み固定してください。(柱と柱のすきまは25mmです。)

<注意>

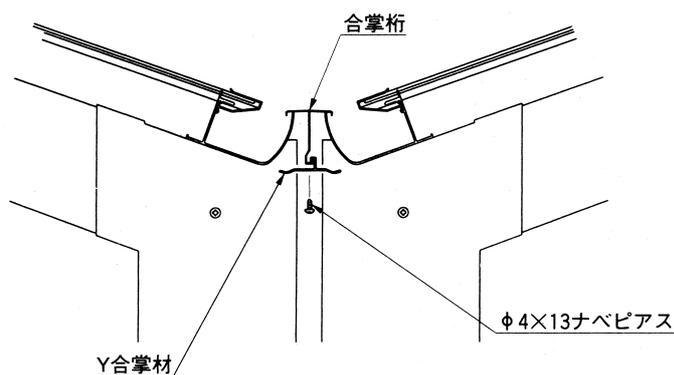
- 柱の上面は同一高さにしてください。
- 柱連結金具は、下側のボルトに止めてください。

4-2 基礎施工(Y合掌用)



- ① コンクリート施工は骨組完了後に行ない、硬化後屋根材を組込んでください。
- ② アンカー棒は必ず施工してください。

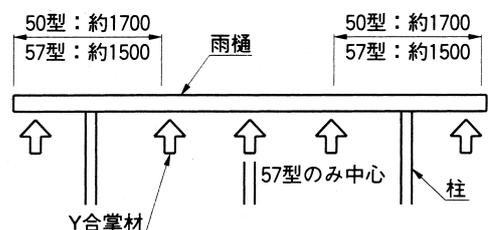
4-3 Y合掌材の取付け(Y合掌用)



- ① 合掌桁を雨樋と雨樋の中間に入れ、Y合掌材とφ4×13ナベピアスで取付けてください。

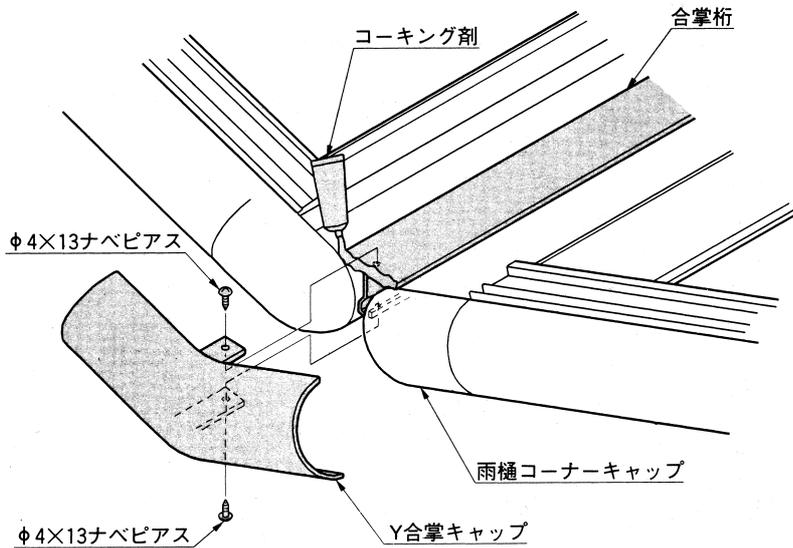
<注意>

- 取付位置は下図を参考に取付けてください。



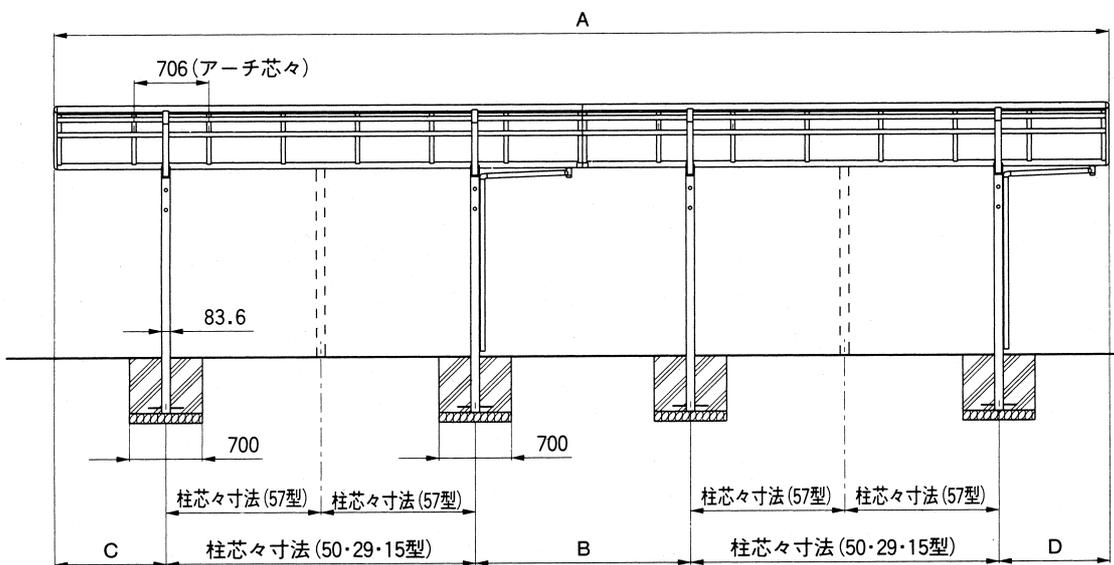
Y合掌材取付位置図

4-4 Y合掌キャップの取付け



- ① 雨樋・側枠コーナーキャップがかけられる位置にY合掌キャップをかぶせ、φ4×13ナベピアスで合掌桁に取付けてください。このとき、キャップと合掌材の接合面にコーキングを施してください。

—縦連棟— 1. 基本寸法



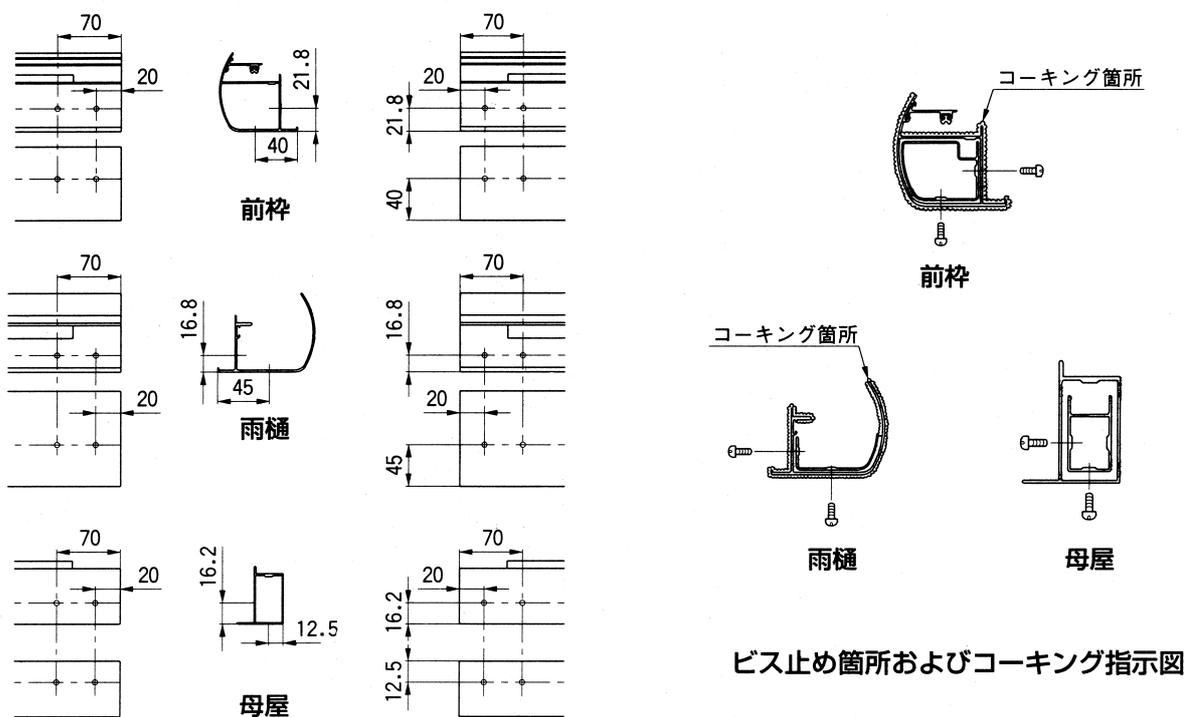
	A	B	C	D
29-50型	7905	1434	456	1015
29-57型	8611	1287	456	868
50-15型	6493	1728	1015	750
50-50型	10023	1993	1015	1015
50-57型	10729	1846	1015	868
57-15型	7199	1581	868	750
57-57型	11435	1699	868	868

	柱芯々寸法
15型	0
29型	2000
50型	3000
57型	2000

<注意>

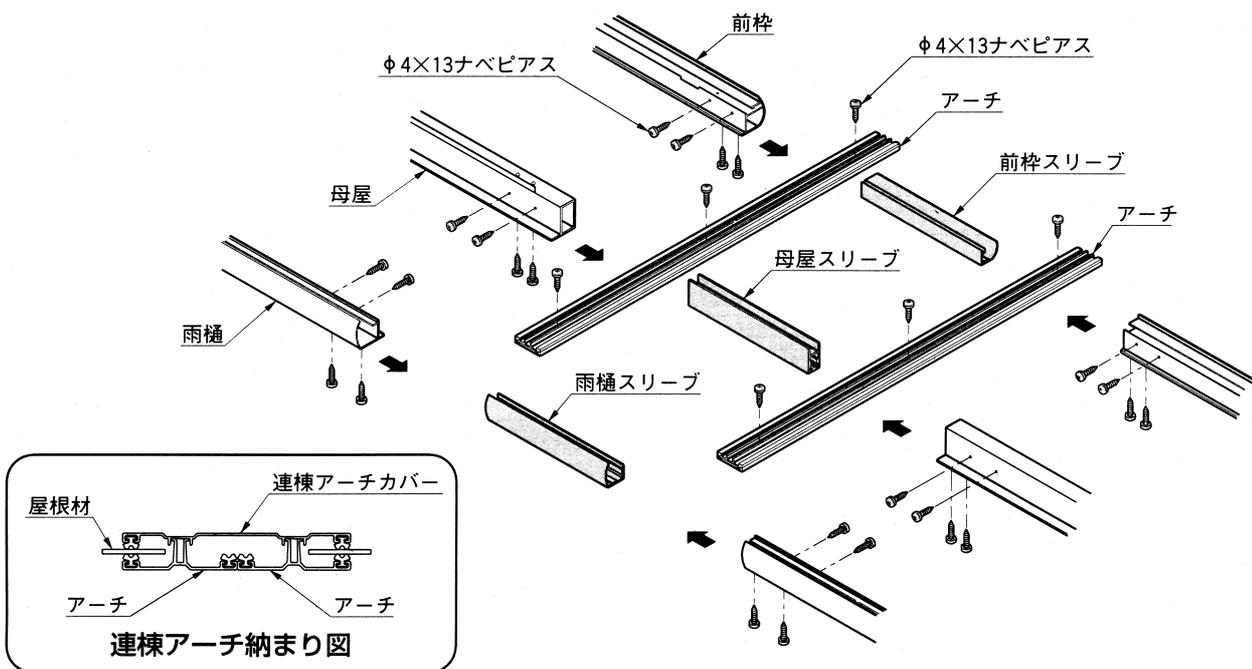
- 15型は柱一本となります。
- 57型は柱三本となります。

2. 前枠・母屋・雨樋の加工



- ① 組立て前に前枠、母屋、雨樋の棟連側にφ4.5の孔加工を上図のように行ってください。

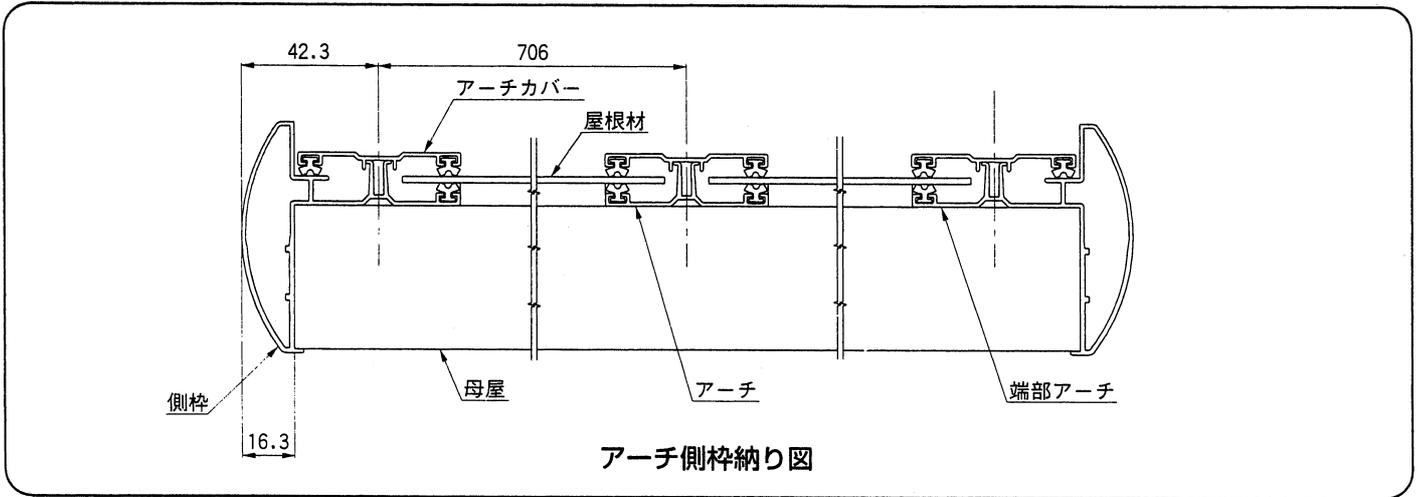
3. 連棟部分の組付け



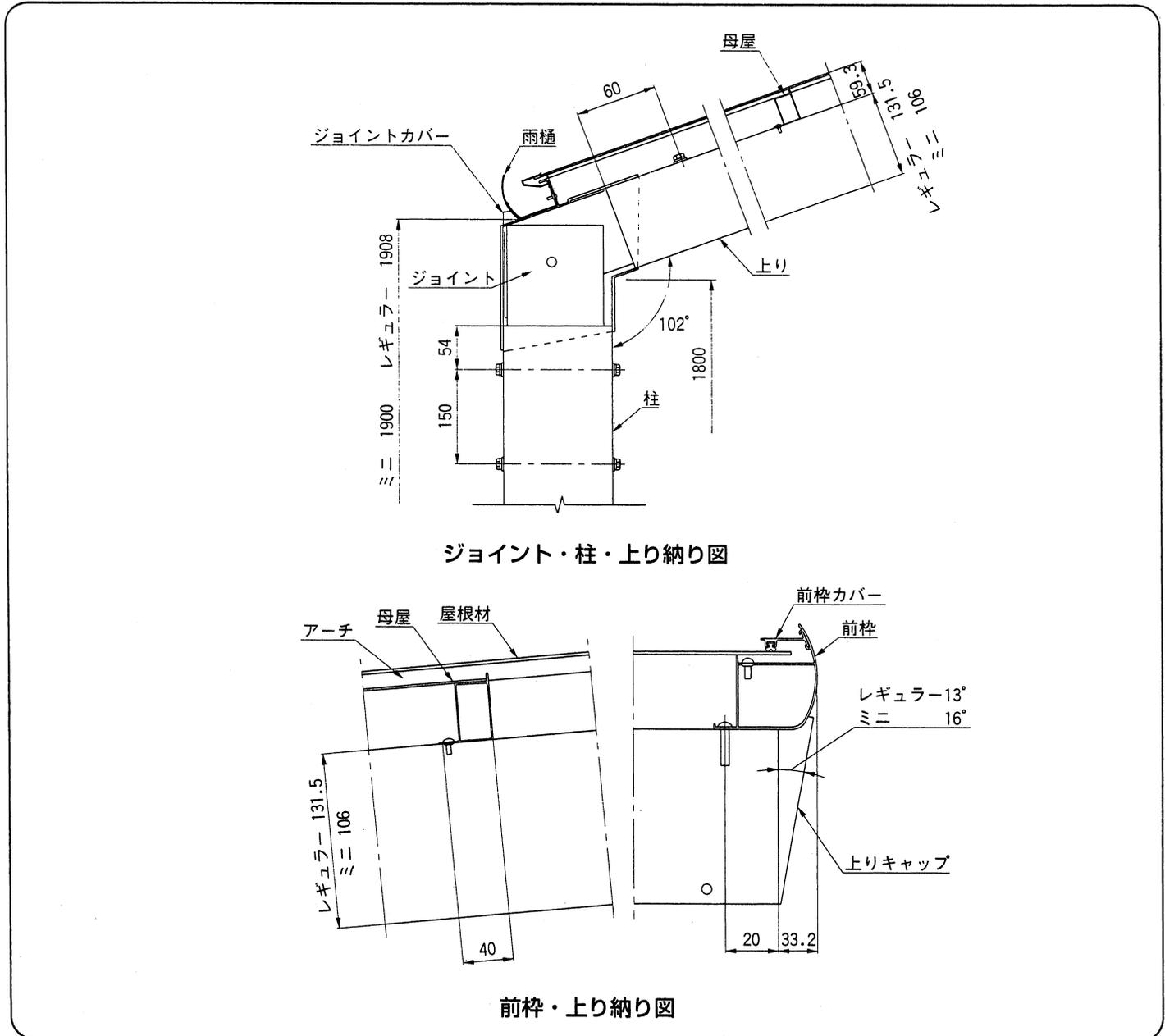
- ① 上図のように連結部に連結用スリーブを入れ、φ4×13ナベピースで固定してください。
- ② 連棟部(アーチとアーチ)に連棟アーチカバーを前枠に突き当たるまで差込み、上部よりφ4×10で取付けてください。端部アーチのフィンと連棟アーチの溝がかみ合うように施工してください。

連棟部以外の組立ては基本タイプをご参照ください。

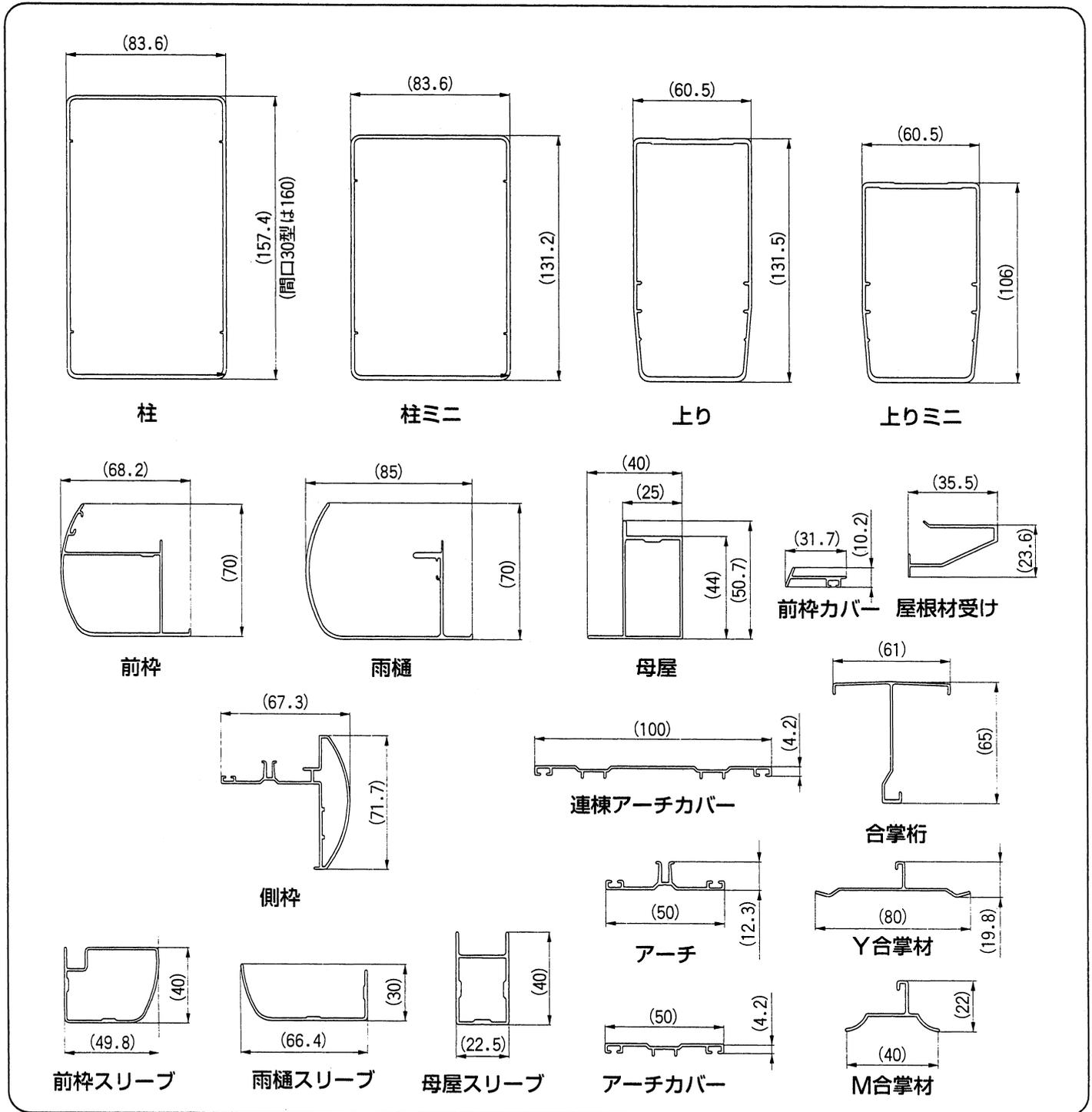
納り図1



納り図2



部材断面図



工事店様へ

- 豪雪地帯での施工は避けてください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。
硬化後、拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様へお渡し願います。
- ご使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 積雪が20cmを超えないうちに必ず雪おろしをしてください。
- 絶対に屋根の上に乗らないでください。

取説コード
D240

IF-H①
199905G